

『難病拠点病院の病理解剖実績と 地域医療および医療教育体制における役割』 お知らせ

1. 実施目的について

当院では神経系難病拠点病院として診療を行う一環として、一部の患者さまとご家族の尊い同意の下、難病の原因・病態解明と治療法開発に貢献すべく、亡くなられた後に病理解剖という方法で診断の確認や合併症、直接死因等の分析などを行っています。

今回、より正確で質の高い医療を提供する基礎資料とするために、病理解剖を行ったことが地域医療および医療教育体制にどのような役割を果たしているかを分析します。

2. 実施内容について

方法は、2007年から2018年末までに当院で亡くなられ、病理解剖を行った患者さまのカルテを調べて、その方の診断や治療等の情報と病理解剖によって得られた情報をもとに、地域医療や医療介護福祉教育体制への影響と貢献について調べます。

カルテを実際に調べる作業を行う期間は、これより2018年末までです。

3. 研究代表者

駒井 清暢（医王病院院長 診療部・神経内科）

4. 調査対象期間

2007年1月1日から2018年12月31日までを調査対象期間とします。

5. 個人情報およびプライバシーの保護について

それぞれの患者さまの個人情報は、個人が特定できないデータに変換された上でデータファイルが作成保存、分析されます。この研究により個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じません。

この研究の成果は、個人が特定できないデータとして学術的な場でのみ公表します。

6. 本研究に関するお問い合わせ

上記のように個人情報やプライバシーを保護した状態であっても、調査対象となることを拒否される場合や、この研究についてご質問がある場合には、下記までお問い合わせください。

国立病院機構 医王病院病院長 駒井 清暢